

# 研究会の御誘い

## 研究会発足のきっかけ

私(大竹登志子)は、25歳から東京都老人総合研究所の高齢者看護の研究者となり「寝たきり予防イスの研究開発」「口腔ケア」「排尿ケア・治療研究」という看護・介護の基本的なテーマを続けて参りました。中高年の健康や介護にも関心を持ち、排泄ケア・治療の研究の臨床研究の一環として「さわやか健康相談室」も施行してみました。そのため海外に行く機会も多かったのですが、数年前より、夫が難病で転倒、脳の手術、リハビリ訓練、そして水も飲ませてはいけない、オムツは一生外せない、と言われて帰宅。



そんな状況で、在宅ケアを行い、口から右手で普通食、オムツをしないでトイレの自立まで可能にしたのですが、再度の転倒で、寝返りもできなくなり、途方にくれたり、病院や色々な施設探しに奔走したりする経験もいたしました。家族の立場になりやっと分かってきたことがあります。看護師の果たす役割の重要性についてです。また、将来に対する不安は増すばかり。この専門家の私がですから、多くの方の問題はいかばかりか。

今回、これを機会にさらに研究を深め、臨床とつなぐ新しい形の研究会をスタートさせなくては、と初心に帰って再スタートの気持ちです。職種は問わず、多くの方からご意見をいただく忌憚のない自由な意見交換の場を考えました。

第1回目の研究会では、今後の研究会の方向性について議論を深め研究課題を練って、形にしていきたいと思います。初回のテーマとしては医療・在宅・臨床・介護・施設・地域連携を含めた「安心できる老後の実現」を取り上げます。

## — 人と人のつながりを広げよう —

### 第1回研究会

2012年1月31日(火曜日) 午後7時～8時30分

東京都老人総合研究所 4階 談話室

場所: 東京都板橋区栄町35-2 (東京都健康長寿医療センター横)

東部東上線 大山駅下車 5分

主催・当日連絡先 : 大竹登志子 090-3311-1903

メール oihc-net@tulip.ocn.ne.jp